



数学を使った遊びや体操を開発する

「新しい数遊びを考える」プロジェクト

今回ご紹介するのは辰巳信平先生の授業です。辰巳先生は本学でプロジェクト学習1「新しい数遊びを考える」「新しい楽器を作る」「新しい星座を作る」をご担当されています。先生の授業は、数学や物理学、地球科学などの学問的知識に基づいて、受講生自身で新しい遊びや星座、楽器を作るプロジェクトに取り組むのが特徴です。このニュースレターでは、その中の一つである「新しい数遊びを考える」を取り上げ、授業の取り組みや工夫についてご紹介していきます。



担当講師の辰巳信平先生



ゲスト講師の澤宏司先生

ゲスト講師によるワークショップの開催

第3回目の授業でゲスト講師を呼んでの「数楽たいそう」のワークショップが開催されました。「数楽たいそう」とは、ゲーム感覚で数学に触れることのできる遊びであり、身体と頭を使って行う体操のことです。澤先生は、この体操を開発するに至った経緯や学術的背景、実社会で応用できる場面などについて詳しく教えてくださいました。また、実際に数楽たいそうを体験し、どのような数を使った遊びができるかをディスカッションしました。正規受講生以外にも福祉関係の方や大学院生が参加され、積極的に意見や感想を交わしました。

◀ 受講生のアイデアを整理

新しい遊びを考えるにあたり、学生の考えを整理し、議論をファシリテートしていきます。初めは緊張もあってか、なかなか意見が出なかったのですが、先生が質問を投げかけたり、学生の意見を受け入れながらコミュニケーションしたりすることで、意見も活発に出てきました。ホワイトボードに意見をまとめ、議論の深化を図っていきます。



数楽たいそうについてはコチラまで

<サワ★博士の数楽たいそう>
<https://www.mathfungym.com>

「数楽たいそう」を実際に体験！ ▶

受講生全員で澤先生考案の数楽たいそうをやってみました。計算をしながら身体を動かすため、結構難しいですが、楽しいです！

授業の感想

数学と遊びという一見結びつきにくい2つのものが組み合わさることで、新しい教材やゲームが作られるという発想が新鮮で面白かったです。高齢者の方の認知機能の訓練にも使えるということもあり、数学だけでなく、教育や福祉に興味のある方にとっても大変興味深いプロジェクトだと感じました。

